



## 主な議案

今定例会では、令和6年度予算を含め、市長提出議案が59件、議員提出議案2件が提出され、いずれも可決・同意されました。  
ここでは、賛否が分かれ、討論が行われた議案などを紹介します。

### 条例 議案第14号 戸田市立学校屋外運動場夜間照明施設使用料条例の一部を改正する条例 可決(賛成22人 反対3人)

**反対** 市民のスポーツ・レクリエーション振興のため、市内小中学校の体育館空調使用料は、市が全額負担すべき

日本共産党戸田市議団 本田 哲 議員

市内小中学校の体育館を使用する団体と使用しない市民との公平性確保のため、体育館の空調使用料を1時間500円に設定することだが、体育館開放は市民のスポーツ・レクリエーション振興のために行われており、さらなる推進が必要。また、熱中症から市民の命を守ることの重要性を考慮すれば、体育館の空調使用料は市が負担すべきである。

**賛成** 一部の市民に限定してサービスを無料にすることは、公平性に欠ける

戸田の会 浅生 和英 議員

体育館のエアコン使用料を500円に設定したのは、受益者負担の考え方に沿っている。設定に当たっては、他スポーツ施設と同じ割合を根拠としていることに加え、支払いの利便性も考慮している。第2期戸田市スポーツ推進計画策定時のアンケート結果、「スポーツ団体やサークルに加入している」の割合が12.7%であり、一部の市民に限定してサービスを無料にすることは、公平性に欠ける。また、体育館利用団体へのアンケートから、一定の理解を得られていると考えられる上、SDGsに取り組む本市としても、公平性を保持している。

### 条例 議案第16号 戸田市高齢者総合介護福祉条例の一部を改正する条例 可決(賛成22人 反対3人)

**反対** 介護保険料の値上げが、少ない年金生活をしている高齢者の生活を圧迫する  
必要なサービスが利用できないことに繋がる

日本共産党戸田市議団 むとう 葉子 議員

介護保険制度の財源は、50%が公費負担であるにも関わらず、国から交付されるはずの交付金が本市は少なく、介護保険料の値上げに繋がっている。法定外繰り入れを行い、介護保険料は引き下げるべき。また訪問介護の報酬が減額となり、ヘルパー事業所の運営は困難になる。介護保険料は値上げされ、これまでのサービスが利用できなくなる。市独自の高齢者歩行補助つえは、「転ばぬ先の杖」として、高齢者の自立した歩行を保つための福祉用具。値上げは市民サービスの後退となる。

**賛成** ①法定外繰り入れを負担軽減の財源として考えるのは非現実的  
②高齢者歩行補助つえ交付事業は調達価格の25%程度の負担となるため、過度な負担はない

戸田の会 酒井 郁郎 議員

介護保険では原則として税金の投入は禁じられており、法定外繰り入れを行っている自治体は全国的にも少数である。そのため、法定外繰り入れを負担軽減の財源として考えるのは非現実的。また、高齢者歩行補助つえ交付事業は、近隣の自治体と比べても手厚いサービスを提供していると考えられる。

### 条例 議案第17号 戸田市福祉保健センター条例の一部を改正する条例 可決(賛成22人 反対3人)

福祉保健センターは、令和6年度組織改正において、地域福祉政策部門を福祉保健センターに集約し、地域福祉政策と保健政策を一体的に進めるための機能強化を図ります。これに伴い、貸室業務を廃止し、土日を休館日とするための条例改正です。

**賛成** 納税者として、限られた財源を効果の上がらない分野に投入するのをやめ、効果の高い分野にリソースを再配置する政策改善を支持する

戸田の会 酒井 郁郎 議員

福祉保健センターの土日開所を終了し、休館日とすることは、現状利用者が少なく、職員が出動せずに済むことや、その人員を他のより重要な事業に再配置できる。特に、引きこもり問題への対応や訪問事業など、訪問の意義が大きい事業に人員を配置することは、地域の保健行政に大きな価値がもたらされると考える。

## 補正予算

### 議案第30号 令和5年度戸田市一般会計補正予算(第11号) 可決(賛成22人 反対3人)

**反対** 年度内の余剰金は、原油・物価高騰対策として積極的に市民生活に活かすべき

日本共産党戸田市議団 本田 哲 議員

財政調整基金の目的に照らし、一定額を積み立てすることに異を唱えるものではない。しかし、原油・物価高騰の影響により生活必需品を中心にさまざまな物の値上げが続き、生活の厳しさを訴える声が市民から届いている。令和5年度の余剰金から、財政調整基金に約30億円も積立てができるのであれば、原油・物価高騰対策として、補正予算を組むなど、積極的に市民生活に生かすべきであったと考える。

**賛成** 有事の際に必要な市民サービスを継続するためには、財政調整基金残高の維持が不可欠

戸田の会 宮内 そうご 議員

本市は物価高騰に対応する緊急支援策として、15歳までの子供の給食費を6か月間無償化するなど、市民生活のために必要な措置はしっかりと講じられてきた。また、必要な市民サービスを安定して継続するためには、適正な財政調整基金残高の維持が不可欠であると考えられる。なお、積立額が大きいのは、年初の資金需要が大きい時期に基金の取り崩しを行い、年末に同水準を積み直すためである。

## 人事

◎戸田市副市長

とよしま ひろあき  
豊島 浩明 氏  
(新任)



◎戸田市教育委員会委員

せんば けんいち  
仙波 憲一 氏 (再任)

◎戸田市公平委員会委員

うしやま くにひこ  
牛山 久仁彦 氏 (再任)

◎戸田市教育委員会教育長

とがさき つとむ  
戸ヶ崎 勤 氏  
(再任)



◎戸田市監査委員

おがわ ちえこ  
小川 千恵子 氏 (再任)

《結果》いずれも同意(全会一致)

## 陳情

今定例会では4件の陳情が提出され、委員会にて審査した結果、いずれも継続審査となりました。

- ◇陳情第1号 年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情 継続審査
- ◇陳情第2号 選択的夫婦別姓制度の法制化を求める国への意見書の提出を求める陳情 継続審査
- ◇陳情第3号 国に対して離婚後の共同親権制度の導入を拙速に進めないように求める陳情書 継続審査
- ◇陳情第4号 「学校における犯罪から児童生徒及び教職員を守る体制整備を求める」陳情 継続審査

## 意見書

議員提出議案として意見書2件を可決し、国・政府に提出しました。

- ◇若者のオーバードーズ(薬物の過剰摂取)防止対策の強化を求める意見書
- ◇地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー(循環経済)の一層の推進を求める意見書

《結果》いずれも可決(全会一致)